

ウステキヌマブ BS 皮下注 45mg シリンジ「ニプロ」を正しく投与いただくために

● 取扱い上の注意に関する詳細は裏面をご覧ください。手順紹介写真には製品見本を用いています。

手順
1

注射の準備をする

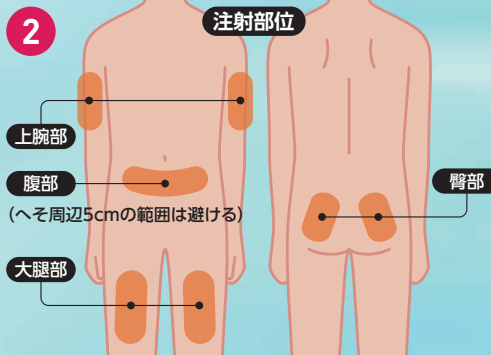
外箱の確認



1 冷蔵庫から本剤を取り出し、外箱に記載された薬剤名と使用期限、ミシン目が破れていないか、改ざん防止テープが剥がされていないかを確認する。

注意 外箱は開封せずに平らな場所に置き、注射する前に30分室温に置く。

注射部位の選択・消毒



2 注射部位を選択し、アルコール消毒綿で拭き、乾燥させる。

注意 乾癬の症状が出ている部位には注射しない。同一箇所への繰り返しの注射は避ける。

プレフィルドシリンジの取り出し

3 開封口から開封して、トレイを取り出す。



4 シリンジ本体の筒部分をもって、プレフィルドシリンジをトレイから取り出す。

注意 他の部分をつまんで持ち上げない(針が曲がるおそれがあります)。



5 ラベルの製品名と薬液の状態を確認する。

注意 薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には、注射しない。

手順
2

注射を行う



6 プレフィルドシリンジ本体を持ち、針キャップを水平方向に引き抜く(薬液の滴がみられることがありますが問題はありません)。



7 親指と人差し指の間に消毒した皮膚を挟み、プレフィルドシリンジは皮膚に対して約45°の角度から注射する。

注意 筋肉内ではなく、皮下に薬液が注入できるよう、十分な量の皮膚をつまむ。



8 プランジャーヘッドを押す。プランジャーヘッドを最後まで押し込んだらプランジャーヘッドを押したまま、針を皮膚から抜く。



親指をプランジャーヘッドからゆっくり離すと、針全体が安全シールドに収納される。

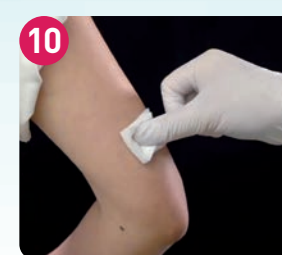
注意 針を皮膚に刺したまま、親指をプランジャーヘッドから離さない。

手順
3

注射後



9 使用済みのプレフィルドシリンジは再利用せず、速やかに所定の耐貫通性廃棄容器に廃棄する。



10 注射部位を確認し、少量の出血または薬液が残っている場合は、出血が止まるまで綿球やガーゼパッドで皮膚を押さえる。



注意 シリンジ内に小さな気泡がみられる場合

シリンジ内に小さな気泡がみられた場合も問題なく使用できます。気泡抜きを行うと誤って薬液が過度に排出されてしまう可能性があるため、気泡抜きは推奨していません。

ウステキヌマブ BS 皮下注 45mg シリンジ「ニプロ」 取扱い上の注意

注射前の重要なお知らせ

- ウステキヌマブBS皮下注45mgシリンジ「ニプロ」は、1回用量45mgを含む1回注射用のプレフィルドシリンジで、皮下注射用製剤です。筋肉内注射として使用しないでください。注射針は、注射後にシリンジ本体内部に収納され、固定されます。
- ウステキヌマブBS皮下注45mgシリンジ「ニプロ」は使い捨てタイプですので使用後は薬液が残っていたとしても再使用せず、廃棄してください(手順3参照)。
- ウステキヌマブBS皮下注45mgシリンジ「ニプロ」を使用する際は、必ず取扱説明書をお読みください。

保管について

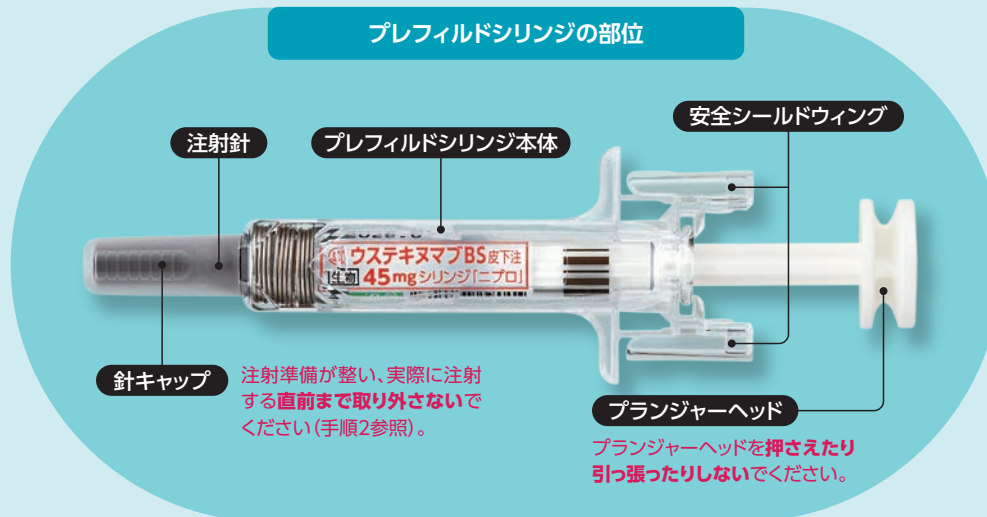
- 2~8℃の冷蔵庫で保管し、凍結しないでください。
- 本剤は遮光保存する必要があるため、使用直前に外箱から取り出してください。
- プレフィルドシリンジを激しく振盪しないでください。

手順 1 注射の準備をする

■外箱の確認

- 外箱に記載された使用期限を確認してください。
- 使用期限が切れている場合は使用しないでください。
- 外箱は開封せずに処置台の上などの平らな場所に置き、注射する前に30分室温に置いてください。
- 上記以外の方法(器具等)で温めないでください。

プレフィルドシリンジの部位



- 外箱のミシン目が破れている場合は使用しないでください。
- 外箱の改ざん防止テープに剥がされた形跡がある場合は使用しないでください。
- 置き忘れに注意してください。

■注射部位の選択

皮膚の敏感な部位、傷がある部位、赤くなっている部位、皮膚が硬くなっている部位、皮膚が肥厚している部位または落屑があるなど乾癬の症状が出ている部位には注射しないでください。同一箇所へ繰り返し注射することは避けてください。

■注射部位の消毒

注射部位をアルコール消毒綿で拭き、乾燥させます。

■薬液の状態を確認

プレフィルドシリンジを外箱から取り出してください。

薬液の状態を確認します。通常、無色～淡黄色の澄明又はわずかに混濁した液で、白色または透明の微粒子が含まれている場合があります。小さな気泡がみられる場合がありますが問題ありません。薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には注射しないでください。

手順 2

プレフィルドシリンジを使用して注射を行う

■針キャップの取り外し

- 針キャップを外した後は5分以内に注射してください。
- 針キャップを注射針に付け直さないでください。針が破損したり、針が刺さってけがをしたりする可能性があります。
- 注射針に触れたり、何かに接触させたりしないでください。

- プレフィルドシリンジを落とした場合は使用しないでください。

手順 3 注射後

■使い終わったプレフィルドシリンジの廃棄

- 使用済みのプレフィルドシリンジは速やかに所定の耐貫通性廃棄容器に廃棄してください。
- 使用済みのプレフィルドシリンジは再利用しないでください。
- 廃棄方法の詳細については「使用済みのプレフィルドシリンジの処分について」をご参照ください。

■注射部位の確認

- 注射した部位はこすったりもんだりしないでください。
- 必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼付してください。

■使用済みのプレフィルドシリンジの処分について

廃棄容器は、各自治体の指示に従って適切な方法で廃棄してください(使用済みの針やシリンジなどの医療廃棄物については、各自治体で廃棄方法が定められている場合があります)。安全な医療廃棄物の廃棄方法についての詳細や具体的な情報については、各自治体にお問い合わせください。



【動画・ウステキヌマブBS皮下注45mgシリンジ「ニプロ」を正しく投与いただくために】は、こちらの二次元コードからご覧いただくことができます。